

県子連の倉庫にはたくさんの宝物があります。1年がかりで整理整頓してきましたが、最近やっと底が見えるようになってきました。

底の方から立派な工具箱が出てきました。金槌からカンナ、ノコギリに至るまで大工道具一式がそろっています。少なくとも20年以上は経っていると思われます。と言うのも、おそらく未開封のまま鉄の部分が錆びて朽ちそうになっています。せっかく有名企業から寄贈していただいたものなので、このまま捨てるのはもったいない。ほかにも使えそうなものがあつたので、先日の事務担当者会議の時にも各市町子連で使えるものは持って帰っていただきました。

とは言え、まだまだ埋蔵品が残っていたので、前期指導者・育成者研修会の際に「フリーマーケット」と称して在庫処分に取り出しました。すると、この工具箱が最速でなくなりました。本当に意外でびっくりしました。各地域で活動する際にもものづくり等を活発にやっていることがわかってうれしかった。県子連で眠らせておくより配布してよかったと思います。

